

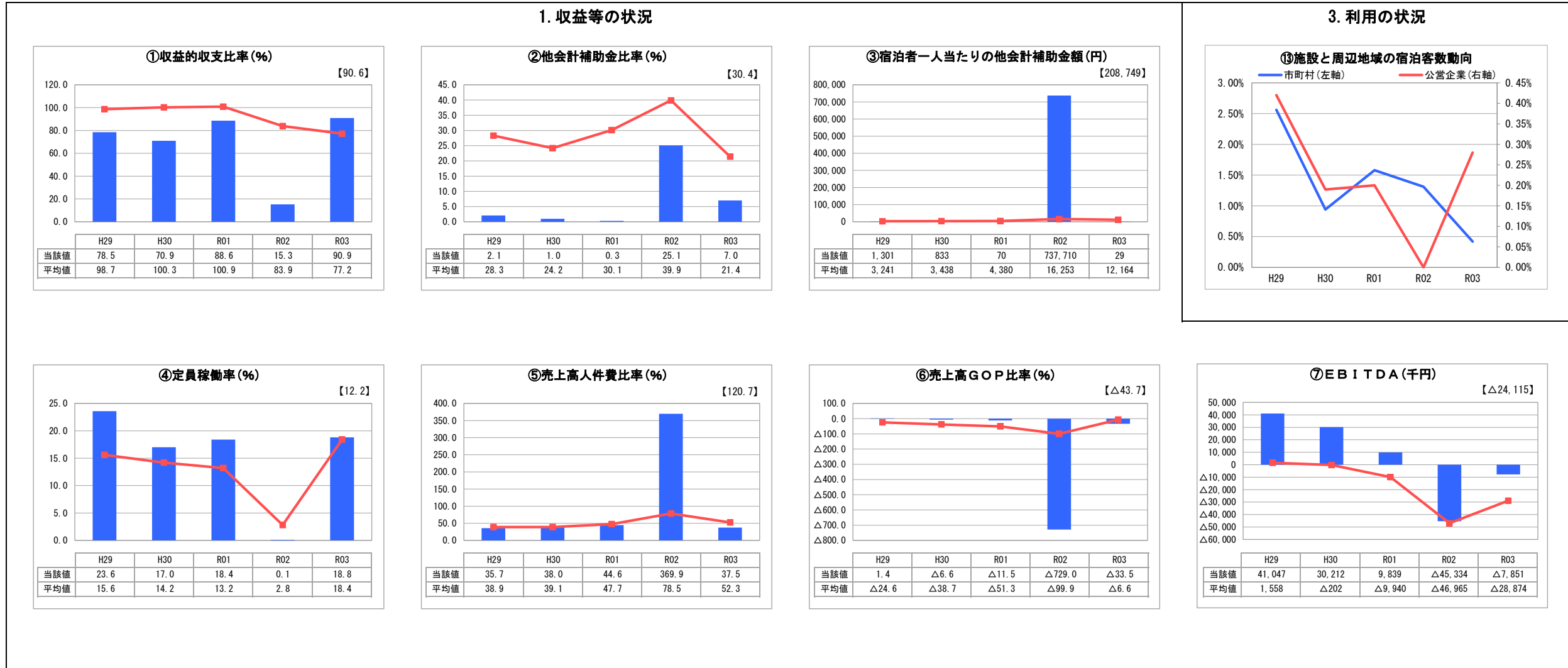
経営比較分析表（令和3年度決算）

宮崎県 宮崎県営国民宿舎 えびの高原荘

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 2 B 2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積(m ²)	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	4,112	130	

客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
13,897	利用料金制	70.0
パリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
有	75.4	有

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均



2. 資産等の状況

⑧有形固定資産減価償却率(%)

該当数値なし

年度	H29	H30	R01	R02	R03
当該値					
平均値					

⑨施設の資産価値(千円)

1,799,199

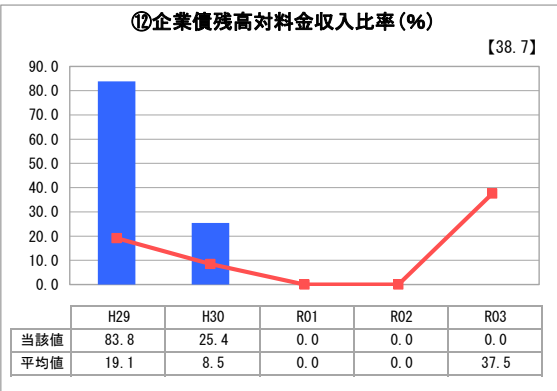
⑩設備投資見込額(千円)

0

⑪累積欠損金比率(%)

該当数値なし

年度	H29	H30	R01	R02	R03
当該値					
平均値					



分析欄

1. 収益等の状況について

※前年度（R2）は、新型コロナの影響によりR2年5月1日からR3年3月31日まで休業

①収益的収支比率
県民県内旅行（ジモ・ミヤ・タビ）キャンペーン等の効果により、コロナ禍前（R1）の数値を上回っている。

②他会計補助金比率
施設整備等のため一般会計から繰入を行っているが、前年度より約18%下回っている。

③宿泊者一人当たりの他会計補助金額
前年度（※）に比べて延泊者数が大幅に増加したため、大きく低下している。

④定員稼働率
コロナ禍前（R1）と同程度まで回復してきている。

⑤売上高人件費比率
前年度（※）に比べて営業収益が大幅に増加したため、大きく低下している。

⑥売上高GOP比率
前年度（※）に比べて営業収益が大幅に増加したため、大きく増加している。

⑦EBITDA
前年度（※）に比べて営業収益が大幅に増加したため、大きく増加している。

2. 資産等の状況について

⑫企業債残高対料金収入比率
R01で企業債の償還は終了したところであるが、必要な更新・投資を行うための財源確保に向けた検討は必要である。

3. 利用の状況について

⑬施設と周辺地域の宿泊客数動向
えびの市の宿泊者数に占める当施設の宿泊者数の割合は、コロナ禍前と比べても高い水準にある。自然景観に恵まれた立地環境やグランピングの取組等が、コロナ禍における旅行者のニーズに対応できているためだと考える。

全体総括

新型コロナの影響はあるものの、指定管理者の営業努力や県民県内旅行（ジモ・ミヤ・タビ）キャンペーンの効果等もあり、定員稼働率などについてはコロナ禍前の数値まで回復傾向にある。引き続き、指定管理者に対して適切な指導・助言を行うことにより、施設利用者の増加を図るためのサービス向上や収支の改善に取り組む必要がある。